

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	フェリクス曾根				公表日	2025年 3月 4日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	1	・個別活動時の1人ひとりのスペースの配置を工夫したり、必要に応じて別の個室も利用している。	・その日の利用児童の人数、児童の障がい特性に合わせて、個別活動時のスペースの取り方に配慮していく。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	2	・活動の進め方や内容を工夫し、児童が安全に過ごせる環境をつくっている。	・基準上、職員配置、環境共に満たしている。ただし、ご利用児童の様子により、1対1で支援が必要になったときには、利用児童数によっては職員の配置数が不足していると感じることがある。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	・視覚的に刺激になるものを少なくし、必要な視覚支援（イラストカードで提示）を行っている。 ・発達支援室等、活動する場所を動物マークで示している。	・事務スペースがオープンエリアであるため、児童が入りやすい。 ・突発的に行動する児童にとっては特に、玄関の段差や物の置き場所等に配慮が必要。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		・発達支援室①の床はタイルカーペットを敷き、衛生面、安全面に配慮し、子どもたちがはだしで走り回れるように設定している。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	1		・PDCAサイクルの具体的な目標設定と改善に向けた検討が職員全体で十分にできないことがあった。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1		・引き続き、保護者の意向等を業務改善につなげていくよう努めていく。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	・ミーティングの時間を朝、昼、夕に行い、意見を共有する時間を設けている。	・引き続き、意見等を業務改善につなげていくよう努めていく。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		3		・第三者による外部評価はまだ行っていない。 ・実施については今後検討していく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5				
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3	1		・令和6年度中に作成し、3月に公表を行った。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか。	5				
	13	個別支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		個別支援計画書においては、支援会議で目標や支援内容について共通理解をしたうえで検討している。		
	14	個別支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	2	・支援の様子や児童の状況を個人記録に記載し、確認している。	・標準化したツールがないが、今後共通認識をもってアセスメントしやすいシステムを検討していく。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	1	・令和6年度に改定されたガイドラインの内容について研修の機会を通して共有を図っている。	・年度当初は、職員全体で、ガイドラインのねらいや支援内容を十分に把握していない部分があった。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1		・時間に余裕がないと、チームでの立案が十分にできないことがあった。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	1	・児童が達成感を得られる活動やルールが明確な活動を企画し、固定化しないよう部分的にアレンジをして行っている。	・活動内容の幅をより広げていけるよう、情報収集やアイデアを出し合っていく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成し、支援が行われているか。	5			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	5			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2			・現段階では、まだ該当するケースがない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		5		・開所初年度のため、機会を設けられていない。今後、機会を設けられるよう検討していく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	4		・開所初年度のため、機会を設けられていない。今後、機会を設けられるよう検討していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	4		・開所初年度のため、機会を設けられていない。今後、機会を設けられるよう検討していく。自立支援協議会からの発信情報等は得ているが、参加まではできていない。今後、参加に向けて検討していく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		・連絡帳にて、保護者の方から児童の様子等を伝えていただき、事業所からもその日の様子やできたことなどを伝えている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		5		・家族支援においては、現段階では子育てサポートの対応のみとなっている。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		・契約時に説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		・可能な限り、児童の意思を確認する機会を設け、問いかけを工夫したり表情を観察したりしている。	
	38	「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ているか。	5			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	4		・令和6年度は2月に第1回保護者交流会を開催した。次年度は回数を増やして開催をしていく。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4	1		・HPやSNS等の活用はまだできていないため、今後検討していく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		・関係機関との個人情報の共有においては、必ず保護者の方からの同意をいただいている。また、HP等や発行文書への写真や名前の掲載についても、保護者の方からの承諾書により確認を行っている。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		・わかりやすい言葉やイラスト、写真等の視覚情報を用いている。	・より良い配慮について検討し、取り組んでいく。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	3	・地域の方のボランティアの受け入れを行っている。	・地域とのつながりを少しずつ広げ、交流する機会を検討していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		・アセスメント情報で確認している。	・職員全員が共通確認できるような情報管理を整えていく。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	1	1		・現在は、該当する児童がいない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		・安全計画に基づいた取り組みの様子については、発信文書にて保護者へ伝えている。	・家族との連携が図れるような周知について、今後検討していく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4				